

緊急アンケート

新型コロナウイルス感染症に
起因する団体への影響に関して

調査結果まとめ



令和2年（2020）5月20日

ひらつか市民活動センター

（協働運営：特定非営利活動法人湘南NPOサポートセンター）

【調査概要】

- **調査目的** : 新型コロナウイルス感染拡大で活動の休止および縮小を余儀なくされているなど、団体の活動への影響・現状を把握し、合わせて、今後の活動の見通し、必要とされる情報提供や支援策を検討するため
- **調査対象** : ひらつか市民活動センターに、市民活動団体として登録中の団体（メール周知が可能な団体を中心に抽出）
- **調査期間** : 令和2年4月15日（水）～4月30日（木）
- **調査手法** : メール添付による自記入式アンケート
- **回収状況** : 42団体（配布数101、回収数42、回収率42%）
- **調査主体** : ひらつか市民活動センター
- **回答者属性** : 回答数42の内訳は、任意団体28（66.7%）、NPO法人1（23.8%）
一般/公益社団法人1（2.4%）、その他3（7.1%）
活動地域（複数回答）としては、平塚市内36（75%）、
神奈川県内8（16.7%）、その他4（8.3%）



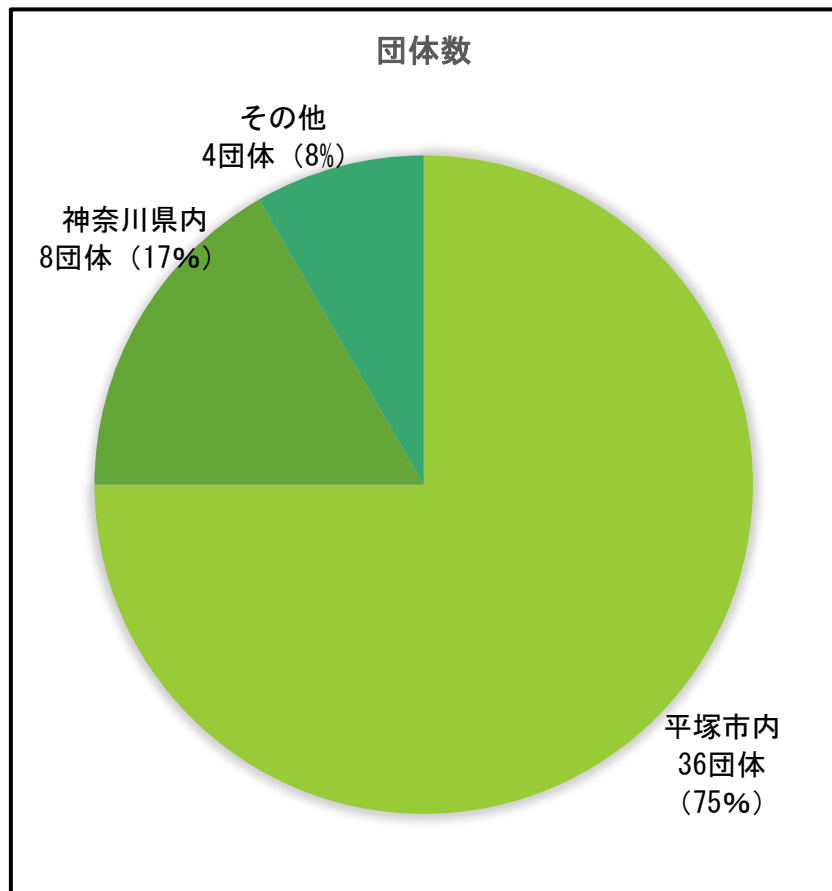
【調査結果の概略】

1. 団体が提供する団体が提供する支援の対象者、サービスの利用者への影響では、「現在影響が出ている」「今後影響が出る」という回答が30団体あった。
2. 団体運営への影響では、「現在影響が出ている」という回答が34団体あった。
3. 団体運営への具体的な影響（複数回答）では、「総会又は会議などが開催できない」が30団体、「イベントや講座など事業の中止をした」が27団体、「収入が減少した」が10団体であった。
4. 現在の活動状況（複数回答）では、「活動・事業の中止」が23団体、「オンラインツールを活用し会議等を行っている」が12団体、「団体・利用者とは情報交流を図っている」が10団体あった。
5. 困難克服のための具体策としては、オンラインツールの活用によってコミュニケーションを図る団体と、施設再開と収束するのを待つ以外に特になくという団体に、大別された。
6. 活動する上で必要な情報として、Zoomなどオンラインツールの使い方、運営の継続のための金銭面の補助金や助成金情報、場の提供開始の時期等の情報、子育て懇談会を行う場合の方法などが挙げられた。
7. 事態の収束を待ちつつも、収入減少、団体活動が出来なくなることへの不安がある一方で、コミュニティ、ネットワーク等を充実していくことが必要と感じている傾向がある。



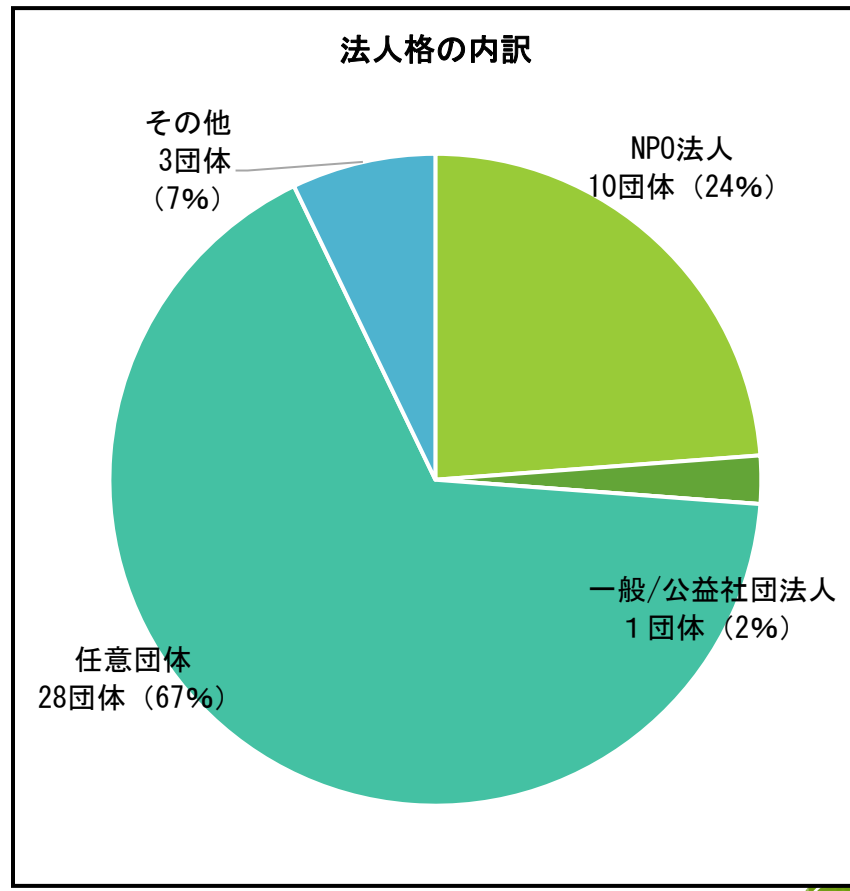
◆主な活動場所について（複数回答）

平塚市内 36団体（75%）
神奈川県内 8団体（17%）
その他 4団体（8%）



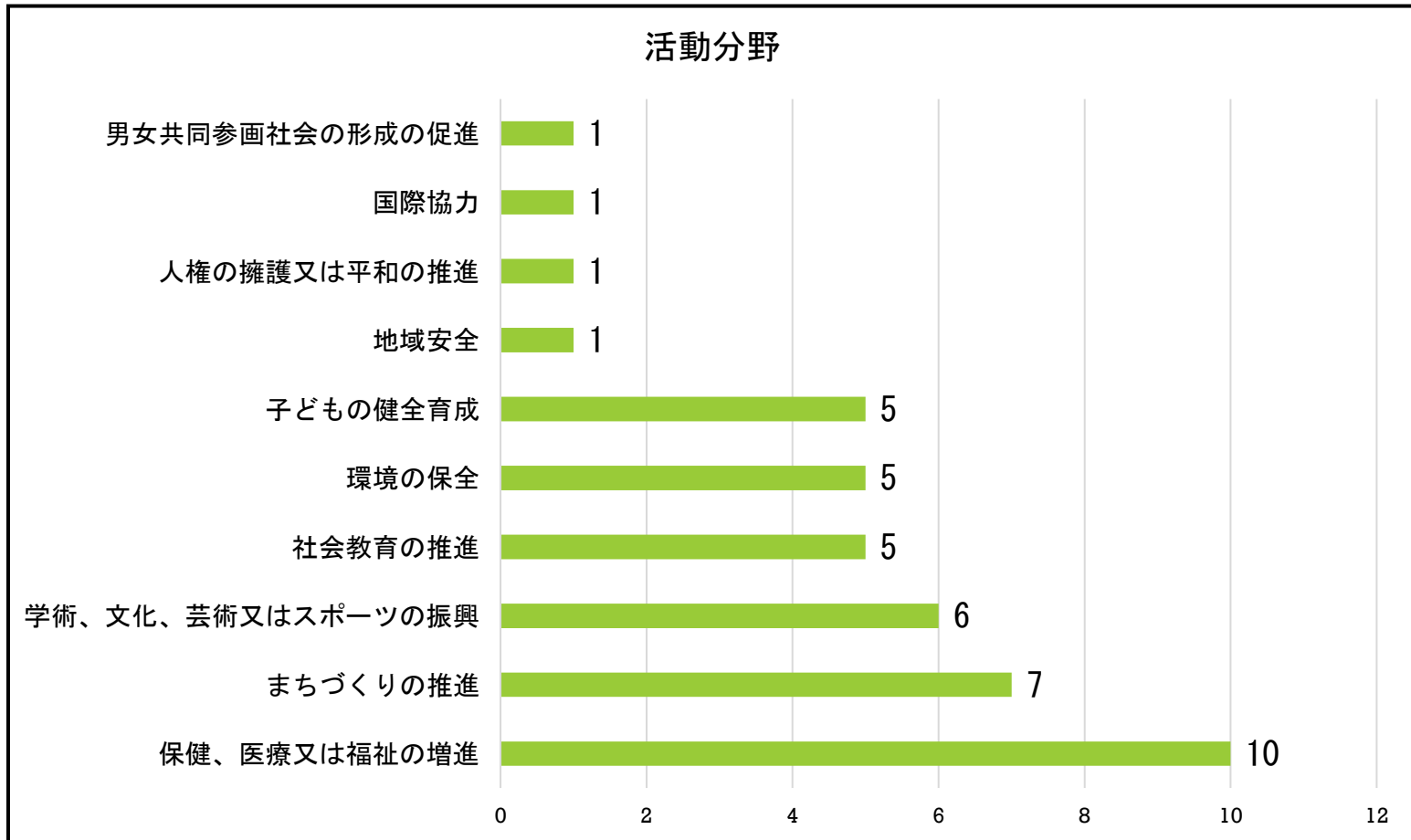
◆法人格について

任意団体 28団体（67%）
NPO法人 10団体（24%）
一般/公益社団法人 1団体（2%）
その他 3団体（7%）



◆活動分野について

保健、医療又は福祉の増進 10団体、まちづくりの推進 7団体、学術、文化、芸術又はスポーツの振興 6団体、環境の保全・子どもの健全育成・社会教育の推進 5団体、人権の擁護又は平和の推進・男女共同参画社会の形成の推進・国際協力・地域安全 1団体



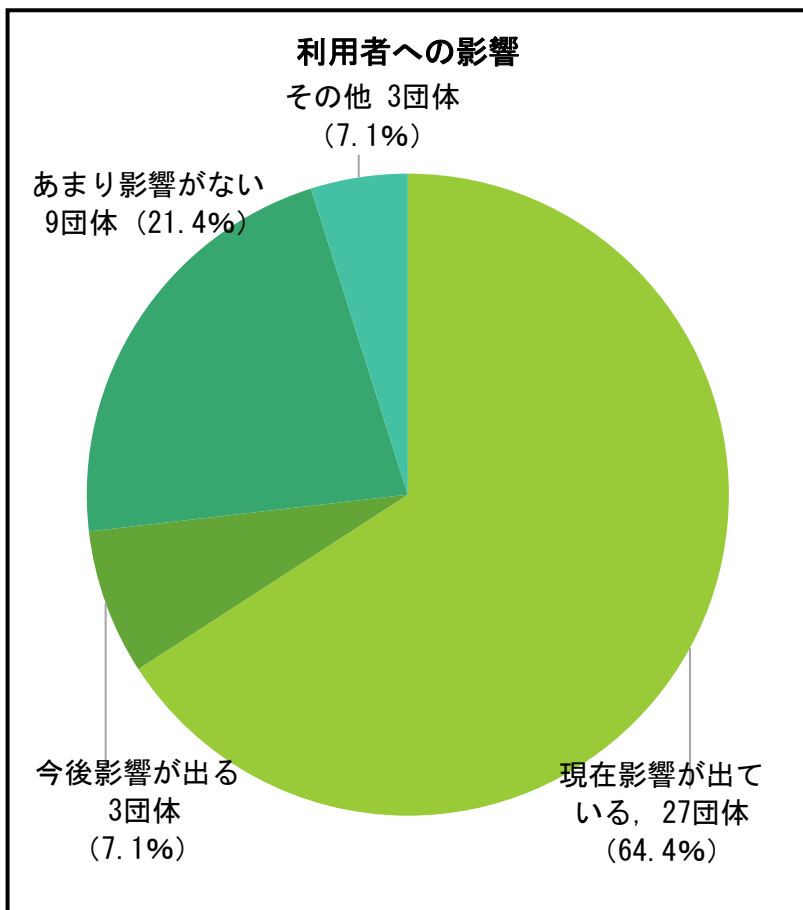
◆新型コロナウイルスの影響で、貴団体の利用者・参加者（支援者）に影響が出ていますか？

現在影響が出ている 27団体 (64.4%)

今後影響が出る 3団体 (7.1%)

あまり影響がない 9団体 (21.4%)

その他 3団体 (7.1%)

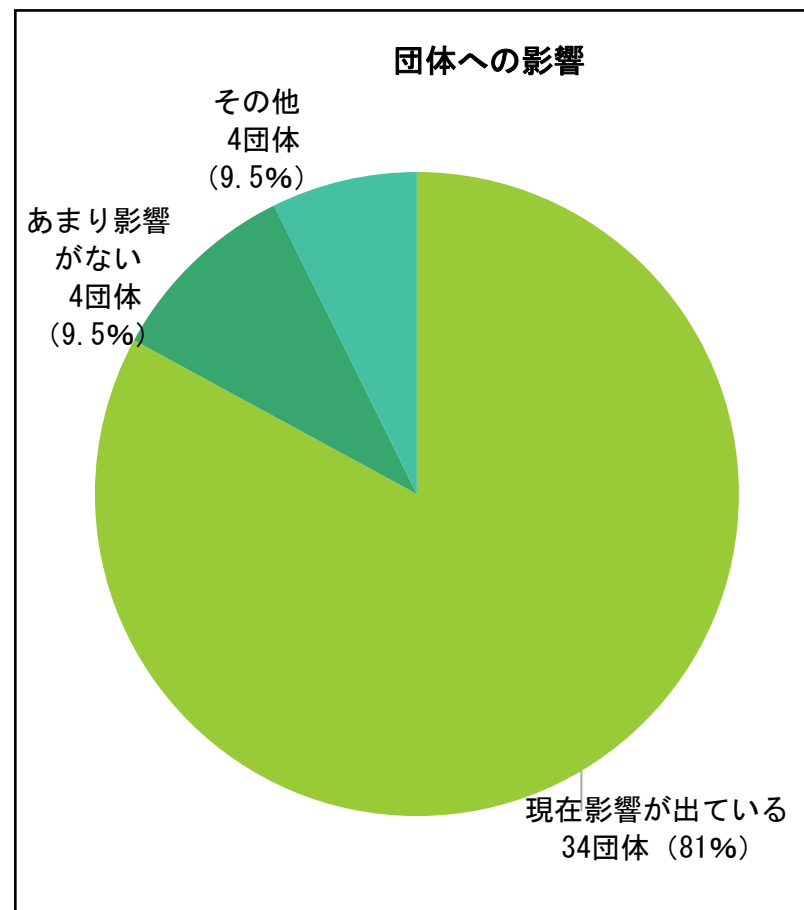


◆新型コロナウイルスの影響で、貴団体の活動に影響が出ていますか？

現在影響が出ている 34団体 (81.0%)

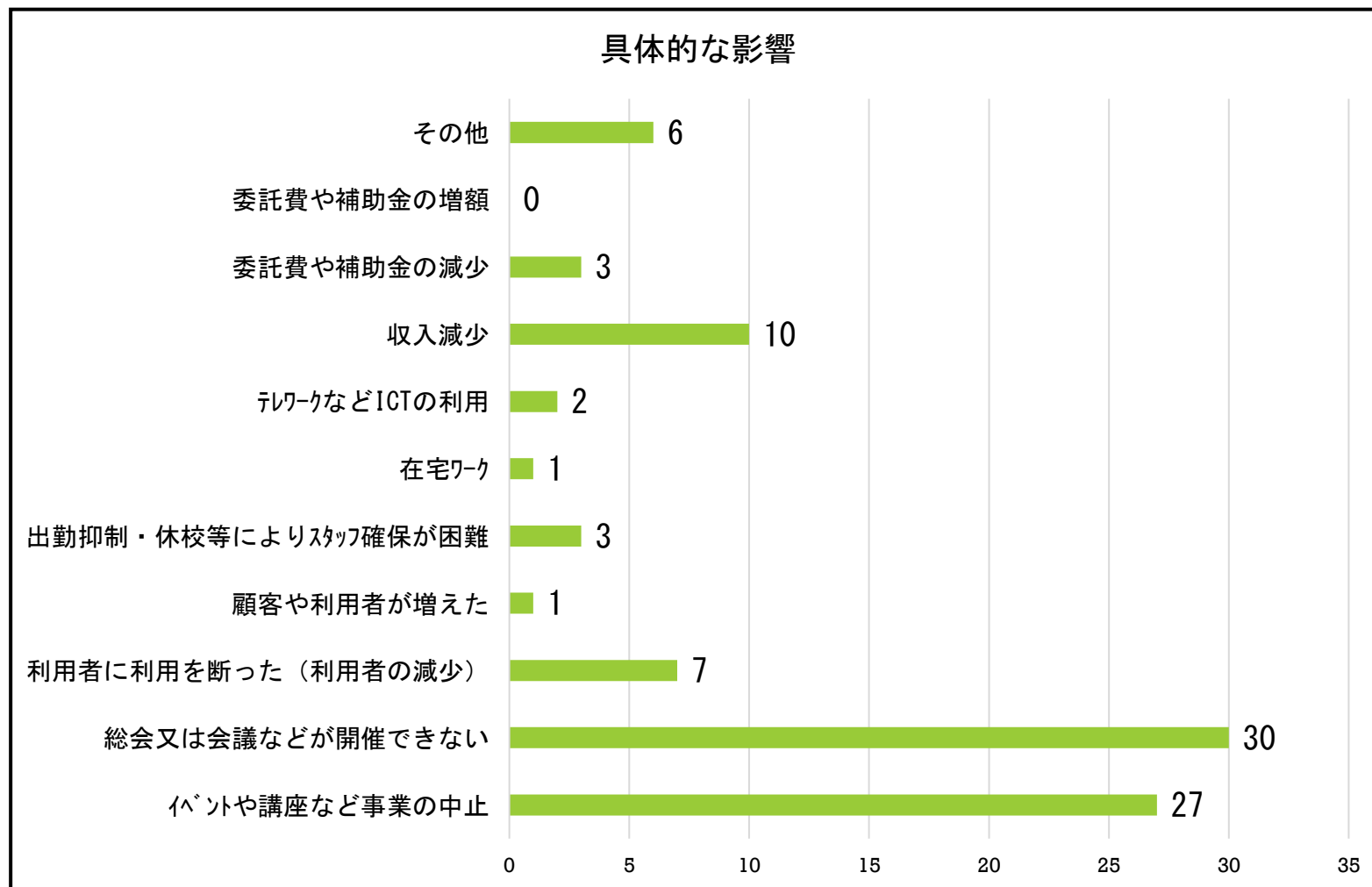
あまり影響がない 4団体 (9.5%)

その他 4団体 (9.5%)



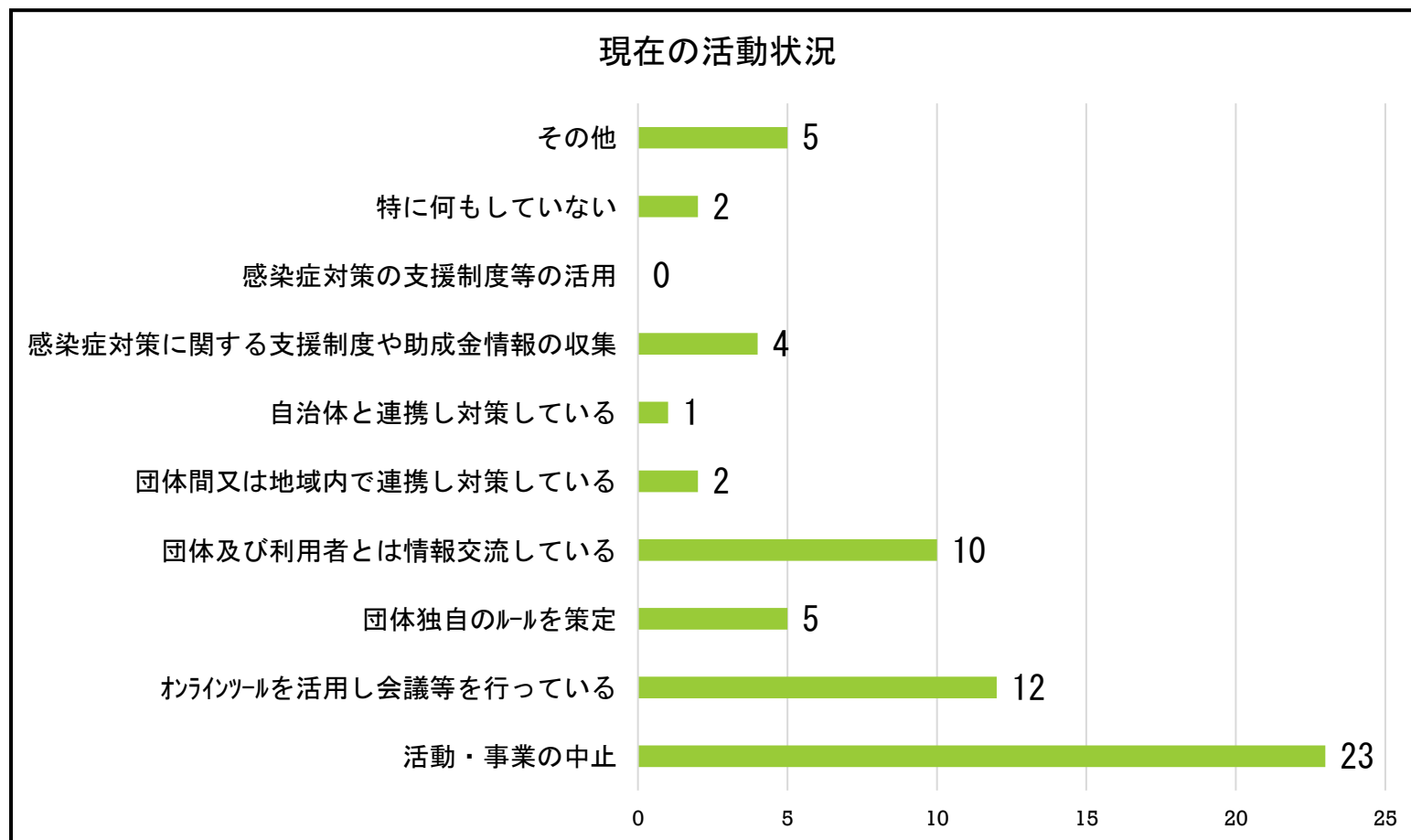
◆具体的な影響の内容（複数回答あり）

総会又は会議などが開催できない 30団体、イベントや講座など事業の中止 27団体、収入減少 10団体など。



◆現在どのような活動をしていますか？（複数回答あり）

活動・事業の中止 23団体、オンラインツールを活用し会議などを行っている 12団体、団体及び利用者とは情報交流している 10団体など。



◆新型コロナウイルスの影響で、貴団体の利用者・参加者（支援者）にどのような影響がありましたか？

- 屋外でのバラの花のメンテナンス作業なので、会員全員で注意しながら作業や活動を続けてきましたが、緊急事態宣言が出てからは一部有志で活動をしています。花は生き物なので完全に休むわけにはいきません。
- ひらつか市民活動センターでの会議ができず、感染防災上その他の場所でも会議ができずメール上で活動、相談を進めている。
- 利用者さんが自宅で自粛することが増えた。
- 3月以降、全てのサークル活動が停止状態です。
- 入園・入学・進級時の相談が一番多い時期なので、十分な情報交換やコミュニケーションがとれていない。
- ①自粛要請の為、スタッフ、相談者が会場まで来ることができない。②公共施設のスペースが閉鎖となったため、相談者の「居場所」がない。③自粛要請により、加害者である配偶者、親が居る為、なかなか相談できる時間がとれず、相談件数は現在のところ減少しているが、緊急時でも迅速に関係支援団体へと繋ぎにくい。
- 園外保育の園児が来なくなった。
- 公共施設の休館による活動休止。
- 定期総会、講演会、イベントなど中止、市役所関係の行事も中止、延期があった、手話通訳者の身に感染の恐れ。
- 当協会は中心活動である「市民ふれあいツアー（社寺・街道などの文化財ガイド歩き）」を年8回開催してきたが、本年3,4,5,6月は中止した〔3月は当協会の自主判断、4～6月は市の中止要請によるもの〕。このため、参加希望者（ほとんど平塚市内在住）がツアー企画に参加できない。企画コースは全て屋外を歩くもので、感染症の状況沈静化を期待して、今年度ツアー企画を9月から再開予定。
- 収入源であるガイドがすべてキャンセル、または中止が3月から続いている。



- 訪問相手（利用者）の入居、入院している施設、病院は面会制限、面会禁止になっているため、訪問して行う傾聴ボランティア活動は休止。毎月の研修も密室で密集して密接に行うので行えない。
- 3つの拠点を運営しています。4月18日から5月6日まで休業します。通常は週に6日開店営業し、お客さまを迎え、またご寄付の品々を頂いています。新型コロナウイルス禍が始まってから、消毒、換気、に力を入れ、レジとお客さまの間に透明ビニールカーテンを下げるなどを行っています。ショップから感染を出すことは社会的責任から許されないと考え、休業を選択する、と理事会で決定しました。4月13日から1週間は営業時間を短縮し、その間ショップを18日から休業する周知に努めました。お客さまとショップのボランティアさんの健康を守るために3つの拠点を休業することをボランティアさんもお客さまも当然の決定と受け止め、しかしすごく残念との声も多く聞かれました。
- 利用している施設がコロナ防止対策で、休館となり利用できない状態。再開についても、今後の状況次第で閉館が続くようである。
- 自分自身のことが大変で寄付ができない旨のメールがふえました。
- ウォーキングイベントの中止によるウォーキング機会がなくなっている。(3月から8月末までイベントの中止を決定している)
- 学校が休校なので、児童たちに読み聞かせ等ができていない。
- 子供達は外で遊びたがっている。参加申し込み多い。だけど中止。
- ボランティア提供を全て中止しています。又団体内の交流会や会議も全て中止です。活動皆無の中で寄付金もゼロです。
- 役員会と総会、講演会、読書会等の会場がなく、事業が停止状況です。やむを得ないと思いますが、外出規制を強め、コロナ終息方向にしていきたい。
- 3月からすべての活動を中止しています。
- 利用者様へ支援食品をお届けする回数が減っている。
- 場所が閉鎖されているので活動中止。
- 講演会の延期、学習会、子育て懇談会の中止。
- ボランティア活動がまったくできなくなっているため、楽しみにしていっしょにいます利用者の方に影響が出ています。
- 研修会等の活動制限、相談会等の活動制限



◆困難に対してどのように乗り越えようとしていますか？具体的に教えてください。

- 必要なことを工夫して少しずつ実施していくしかないと思っています。イベントや集まることはできないので、それにかわるバラの花の魅力をどのように発信していくか考えていこうと思います。
- メール上(メーリングリスト)で意見交換ややるべき作業を進めている。
- 今後、活動センターなどが休館を解除するときを待つこと以外には考えていません。
- コロナに感染しないように掃除と消毒の徹底と気合！です。助成金や補助金国の情報などを収集して活用できるか検討している。
- 書面総会の準備中です。その他は、活動自粛中です。
- こまめな情報発信、オンラインツールの活用。
- フリーマーケットが減っているので、活動を縮小している。依頼者に費用を負担してもらおう。
- ウェブ、オンラインでのカウンセリングの実施できるように、団体のサイトで、オンラインを使えるようになる講座の試験的な実施。ハンドメイドの作り方をブログや、動画で発信していく。当団体のネットショップの再構築（現在、ほぼ放置しているため）。
- 最低限の仕事を、出来るだけの人でこなす。
- 厚生省の雇用調整助成金を申請検討中。私施設を検討。
- ICT活用。会議は「web会議」の形で推進検討中。情報提供は「LINE公式アカウント」の活用を検討中。
- 企画中止の空白期間を活用して、会員間で①ガイド活動のレベルアップ施策、②新たなガイドコースの検討、③会員増加策などを協議・模索中。
- 傾聴ボランティア活動や月例会、講座は、全て落ち着いて再開できる時期を待つ。全国各地の会員も含め、会員同士連絡を取り合って普段の活動ができなくても援助者としてできることをしていこうと考えている。
- 集合型の会議や打ち合わせができないので、ITを活用し情報を共有・発信している。総会も書面による実施の方向で、準備している。



- 黒岩県知事宛てと落合市長宛てに『「新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金」の緊急事態宣言中のNPO法人への支援措置に関する要望書』を、提出しました。
- イベントを延期して開催することにし、総会は開催せず、郵送による書面決議に変更した。
- HP上で、「コメントリレー」と称して、書き込みを解放しています。HPの書き込み、繋がりを感じてもらえるようにしています。
- 資金については、今後2年間は無収入でも活動できますが、長びくことを考え更にSNS等の情報発信を利用して活動資金をつのります。
- 4月に関しては、協力会社の会議室を借用、5月以降に関しては検討中。
- 終息するのを待つ。
- 年間活動計画及び事業計画の見直し。
- 収束を待つ以外にない。
- 集会は中止、メール、共有クラウドで活動しています。
- 現在は、感染が収束するのを待つのみ。
- とにかくコロナウィルスの収束まで国の方針に従い活動を停止します。
- コロナ終息まで、我慢するのみ。
- 皆が不安で落ち込んでいる時なので、少しでも前途に明るさを見いだせる前向きな話題を見つけて誌面を作っていきたい。
- コロナが収束した後の活動を計画しています。
- 3密にならないように最少人数で活動を行い、また配達回数を減らした分、事務所が開いていない時間帯に別の場所でも食品の受け取りができるように協力者様の力を借りた。
- メールなどによる相談活動を模索中。今だからこそ家族のつながりを深めるチャンスととらえ、ゲームの無料貸し出しを始めたが、場所がなく個人的つながりで貸し出している。体験することで活動の趣旨を実感していただけるチャンスとも考えています。
- ラインでのやり取り、ライン電話や携帯電話での相談、ライン会議。
- 特にアイデアはありません。早く終息することを願うのみです。
- 総会等の中止、臨時総会として後日開催。
- メールでの連絡で、face to faceを避ける。



◆今後、活動する上でどのような情報が必要ですか？

- 先の見通しは立てにくいと思いますが、今年の市民活動センターまつりの時期や開催するかしないかなど、総会資料作成などにも必要なので見解を知りたいです。
- Zoomなどを利用してテレビ会議を実施したいがやり方を学びたい。
- 公的機関の利用の可否を知りたい。
- 運営が継続できるための金銭面の補助金や助成金情報。
- 市内施設の使用可能状況。部屋の使用は無理でも、コピー機などの使用ができるのか、等。
- ソーシャルディスタンスを保った上での利用者の満足度の高い相談事業・ツール。
- 神奈川県の事業者への協力金の申請の具体的な申請の仕方。法人の確定申告の仕方。（協力金の申請が通った場合）
- 利用施設の開館、対策助成金等。
- 「web会議」を推進するための情報収集。「LINE公式アカウント」を使って配布資料を会員に展開する方法。
- 会員集会時に、「市民活動センター」は3密の懸念あり、来月以降の再開後も、使用がためらわれる。屋外（イス、ベンチ要）の公共空間があるとありがたい。
- 集まりを行える会場の情報（日程、収容人数、申し込み方法、利用料など）。
- NPO法人向けの経済面での支援はあるのか知りたい。当協会は行政からの補助金はなく、独立採算で運営しているので、ガイド料が入らないと経営ができなくなることが不安。
- NPOへの支援メニューを教えてください。市のHPには有りますが、市民活動団体やNPOを対象にはしていないようです。市民活動センター発の「NPO法人、市民活動団体に対して平塚市からの具体的支援策 を講じる市長への要望書」を出して欲しい。それこそ、市民活動センターの存在意義があると思います。
- 施設の開館開始を通知して欲しい。



- 活動センターの会議室利用に関しての、安心安全対策のマニュアル情報。
- 場の提供開始の時期等の情報。
- ただ、ただ終息するのを待つしかない。無理して実施して、クラスターをつくるわけにはいかない。基本的にボランティア団体が乗り越えることができるような問題ではない。国家が対応しなければ何も解決しない。今回のコロナは現代社会が抱えている諸問題が全て表面に出た。非正規雇用、外交人労働者、地域の結びつき、中国依存の経済、ボーダレス社会などなど。バンドラの箱が空いてしまった。特に貨幣経済が壊れたことは大きい。生活がままならない人が多数出てきている。人と人の結びつきの崩壊も大きい。未曾有の事態である。基本的に社会の仕組みをゼロから再構築する必要があると考える。

逆に言えば、社会を見直す、良い機会かもしれない。ただ、問題は複雑で、長期化する。年内に果たして解決するのか疑問である。ワクチンが完成すれば一定程度落ち着くと思われるが。崩壊した社会をどう復活させるのか、行政として、不要普及の事業を止める等の大胆な施策の転換が必要である。

多くの企業が倒産するであろう。どう回復させるのか。政界経済の崩壊、世界の安定した枠組みが壊れたのであるから、これまでの手法では解決できないと考える。次世代を担う子供達をどう救うのか、ここにも力を入れなければならない。私たちが取り組んでいる環境問題、都市住民の自然離れ対策、子供達の外遊びの減少対策等、社会の解決課題として、優先順位が下がるのではと危惧する。他の社会問題も同様と考える。弱者にしわ寄せがくる。ボランティア団体のパワーも落ちると思われる。

どのように乗り越えるのかと言えば、できる範囲のことをするしかない。来年度を見据えた展開方策の再構築が必要と思う。戦略の見直しを図りたい。観察会等のイベントは休まざるを得ないと思っている。当法人の目標は〇〇の野外博物館化にある。今年度はそれを目標に、幹事を中心に草刈り等、環境改善事業に力を入れたい。トコロジスト図鑑の制作準備などにも取り組みたい。秋開催予定の湘南ピクニックを前に企業との連携も模索したい。同様の取り組みをしている団体と協働で問題解決に当たりたい。力の結集が必要である。ところで、異常気象による災害の勃発も懸念される。災害防止対策の実行を忘れてはならない。



- 会報送付などに伴う作業場所の確保。
- コロナが完全に収まるまで各々自宅待機で待つ事が適切だと思います。
- 学校や施設利用の再開。
- もともと、高次脳機能障害についての情報は平塚市内では全くないので、国や全国規模の障がい者団体から得て、啓発活動を行ってきているので、コロナウィルス感染情報やその支援状況も市から得られるとは期待していない。
- 予定を組むために必要な公共施設の使用可能状況を早めに知りたい。
- 社会情報から活動を開始いたします。
- 自治会の傘下団体なので、自治会が今後夏祭りなどを実施するかどうかの、情報がほしい。
- 国又は市の方向付けを待ちます。
- 平塚市内にてコロナ感染者が20名であるが発症の経緯を情報公開してほしい。
- 子どもを連れて行っても安全な環境かを含め、安心して市民活動センターの利用が再開できること。急遽、利用中止・休館期間延長などの変更がなされることにならないよう確実に活動が継続できる再開の時期を、余裕をもって考え設定し情報発信してほしい。
- 活動場所の閉鎖の解除Zoomなどを活用しての学習会、子育て懇談会を行う場合の方法。
- 施設の再開、活動状況。



◆最後に今回の新型コロナウイルス感染拡大について、団体として気になっていること、地域で必要だと思うことなどをご記入ください。

- 終息に時間がかかりそうで人々の心が沈むのが心配です。噴水広場のバラの花は今年もきれいに咲くと思うので市民の方々にお花を見てほっとする癒しを感じていただきたいと願っています。会ではたくさん咲いたハーブなども広場入口に用意して自由にお持ち帰りください。等の小さい貢献を継続していきたいと思っています。
- この新型コロナウイルス感染拡大の終息にはかなりの時間がかかり社会のシステムもかわり経済問題も深刻な状況になると思う。子供たちの教育も低下していくかもしれず危機感を覚えます。こんな時こそ市民活動団体が知恵を出し合い集まれなくてもできる活動を進めていかなければと思います。意見交換は必要です。特にこの状況で水害や地震など命を脅かす複合災害もついても備えを考えていく必要があります。
- 会のメンバーが集まることによって家族への感染の影響が出ないか、が気になる講演会の予定を立てたいが、ウィルス対策の収束が見えるまでは講師との交渉がまとまらない
- 平塚市でどのような方針なのかわかりにくい。マスクはいち早く届けていただきましたが、国や県からの情報を転送されてくることが多いので平塚市独自の試みが伝わってこない。
- 補助金について、今のところ特に通達はありませんが、年間の活動期間が減ることにより減額になる可能性があります。それにより再開後の活動内容の充実が図れるのか、心配です。他の団体の方々はどう対処されているのかも気になります。
- 参加者世代がオンラインツールに親しいので、不便さは少ない。基礎疾患のある患児の家族なので、普段通りの体調管理や衛生管理を保ち、食材などの不安は少なさそうである。新型コロナウイルスは大変な状況であるが、これまでの各自の取り組みや正しい情報をとる知恵が、静かにそれぞれを助けている。
- 新型コロナウイルス感染が人→猫の例が海外で報告されているが、猫→人の感染例はない。でも、厚労省のホームページではあたかも猫→人感染が起こりうるかのような記述がされていて、猫の遺棄・虐待につながらないか心配です。



- 連日、報道では「医療従事者への応援」が盛んになっております。私は、引っ越しをしてきて間もないですが、平塚市にはたくさんの工場があり、それに関係している多くの方がいます。また、そうした人達だって、「いつ、感染してしまうんだろ。。」そんな不安を持ちながら働いています。何かあると「医療」に目が行きがちですが、出来る限り、自分の近所の人や、近くのスーパーの従業員の方、郵便配達の方等、身近な人に優しい言葉をかけあえると良いのではないかと、思います。
- 今は静かに事態の収束を待つ時期と思っています。この状況で団体活動がなくなる事のない様、コミュニティー、ネットワーク等、充実していくことが必要と思います。
- 毎月のチラシ、緊急連絡などの郵送による情報提供も定期総会が中止のため従来は手作業で会費を収集していたが現時点ではできない。口座開設の予定。
- 傾聴ボランティアは三つの密の重なる活動を主にしているので、今後電話やメールやオンラインなど、訪問しないでも可能な援助の可能性も考えていきたい。
- このアンケートを実施してくださったことに感謝申し上げます。5月6日に解除されるとは期待しないで行かなければならないでしょう。会議室を失った私たちの落胆はご想像以上と思います。先日、ショップで迎えたお客さまが「学校は1学期いっぱい行けないかもしれない、と子どもに言っています。少しずつ延期されるのは子どもには残酷です。」と話されました。新学期に新しい友だちができたはずの子どもたちの落胆を思い、切ないです。
- 感染拡大が収束後、ウィルスについて人に移さない、人からもらわないと衛生管理を個人が気を付けるよう周知が必要と思う。今後の状況で、検討する項目が変わるので現状で考えていることを記載しました。
- 新型コロナウイルスが如何に早く終結し、活動センターで練習が早く出来る様会員共々祈っています。長期間による活動センター使用禁止により高齢者の会員が多い為、運動不足及び室内閉じこもりに寄る健康不安が心配です。
- 高齢者や子育て世代の保護者へ、各公民館からの発信等で、きちんとした情報提供が地域として必要ではないかと思えます。
- コロナウィルス感染者が市内に何人いるかなどの詳細情報。



- 当分の間、集まることは不可と思います。経済活動のことが中心になって市民活動の停滞が気になります。
- 支援センターなど、一律に使用を禁止するのではなく、2密の防止を図り作業場所を提供してほしい。感染者に関する詳細な情報(個人情報を除く)を提供してほしい。
- みんなで力を合わせるしかない、。
- 外出自粛のため在宅している高次脳機能障害者が、ストレスが溜まって家族とトラブルを起こしたり、かろうじて就労できた当事者たちも、事業所に雇止めされたりする恐れがあるのではないかと案じている。国からの支援金がどのような方法で支給されるのか現在では未定であるが、その方法についてきちんと理解できて申請し受給されるか、案じている。
- 平塚市独自の施策があれば会員に情報発信する価値があると思うが、現状は国や県の言う通りにやっているようなので、特に発信の必要性を感じない(自然災害とのちがひ) 会合等で会員が集まったりする場所の確保に支障がないか気になっている。これから先も会員が健康に気を付けて活動が出来ることを望んでいる。
- ボランティア提供を待っている方に何とかしてあげたい。今は何も出来ない。提供側が菌を持ち込む事はさげたい。
- 市民活動センター延長、再開を教えてください。4名以下なら停止中でもコミュニティースペースを貸していただきたい。
- 通信、印刷といった手段の活動が主なので編集委員もメールで連絡を取り合って変わりなく誌面を作り、送り続けていくことで読者に安堵感を拡げられると良いと思っている。
- コロナの感染対策について平塚市のきめ細かい施策が役立っています、ウェブを有効活用しています。メディアにての東京都小池知事のしっかりしたコロナ対策情報は大変にありがたい。
- こういう時だからこそ何かしたいという方が多いことに驚いています。問い合わせもあります。自分が感染源になることもあり得るということを考え、もっと地域全体で 外出自粛を訴えていただけるといいのですが。



- 未就学児を持つメンバーが多く、幼稚園・保育園の通園自粛など、現在は子どもと家にいる生活を余儀なくされています。気軽に相談できる場所や情報交換の場などがあると安心につながります。今回の自粛生活を経験し、子どもの発育や発達、人との接触を避けるという生活で心の中に残ってしまう何かについて、これから先影響があるとしたら、幅広い年齢層を対象に心のケアなどが必要になってくるのではと案じています。
- 感染が収束した時、うまく再開できるかどうか不安。
- 相談者の方がメールや電話などで利用できることの周知、スマホなどを活用しての学習会や懇談会、交流会など必要になってくる。年会費などを集金できるか？活動資金の問題
活動計画が立てられない。

以上

